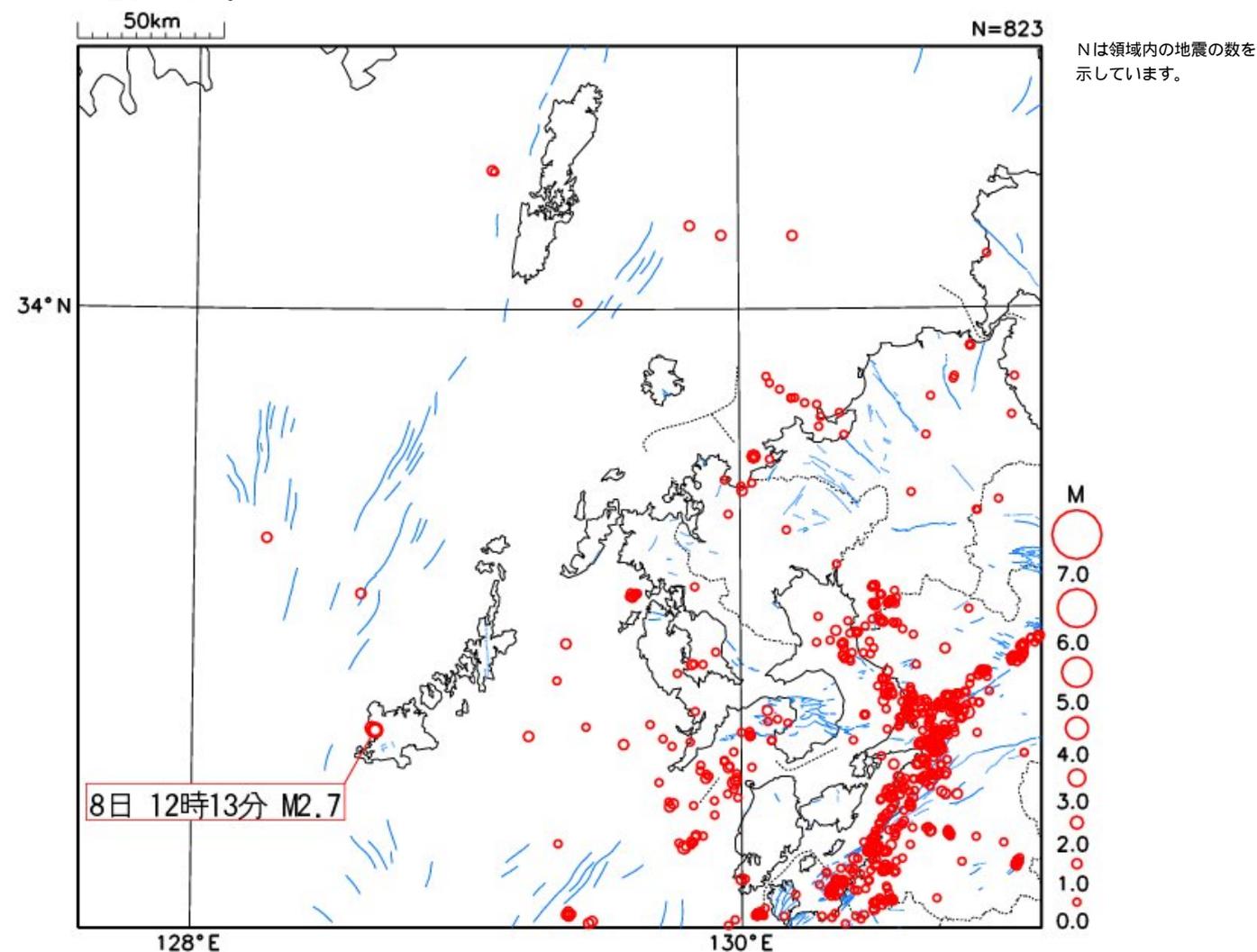


長崎県の地震活動概況 (2020 年 11 月)

令和 2 年 12 月 8 日
長崎地方気象台

地震活動の概況 (2020 年 11 月)

11 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした (10 月 : 1 回)。詳細は次ページのとおりです。

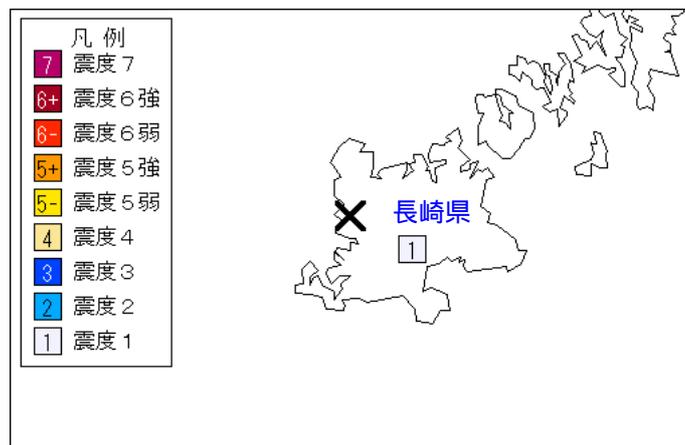


本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による)。
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

五島列島近海

8日12時13分に五島列島近海で発生したM2.7の地震（深さ9km）により、長崎県五島市で震度1を観測しました（図1）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（図2領域a）は、M2.0を超える地震が時々発生している領域で、2005年1月18日にM2.1の地震（深さ6km、最大震度1）が発生し、長崎県五島市で震度1を観測しました（図2、図3）。



11月8日 12時13分 M2.7
図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

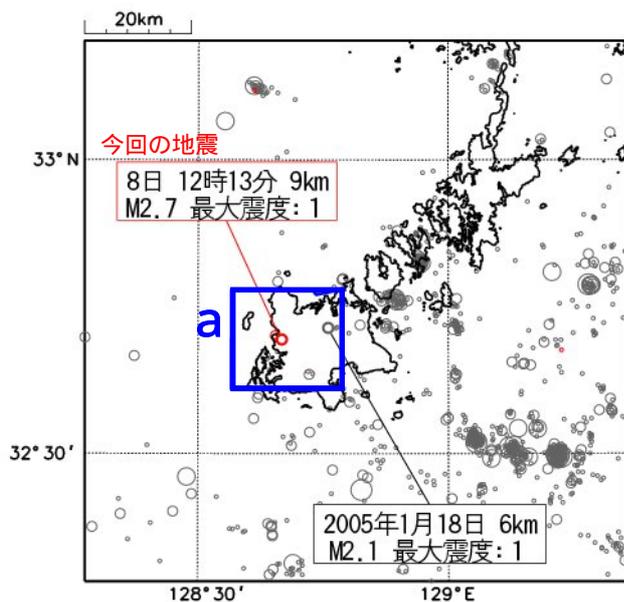


図2 震央分布図

（1997年10月1日～2020年11月30日 深さ0km～30km M 1.0）

2020年11月の地震を赤色、2020年10月31日以前の地震を灰色で表示。

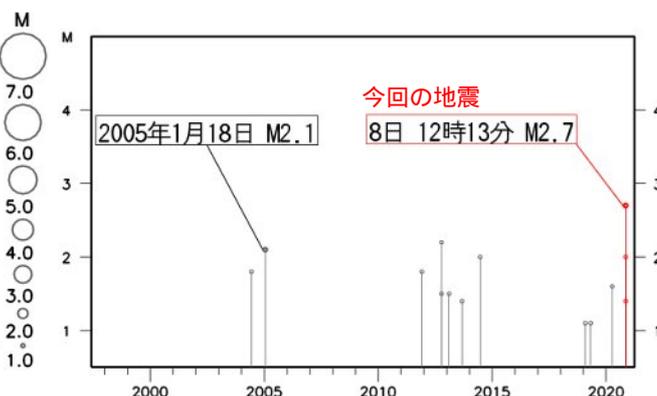


図3 図2領域a内の地震活動経過図

（1997年10月1日～2020年11月30日）

長崎県内で震度1以上を観測した地震の表（11月1日～30日）

地震発生時刻 各地の震度	震源地名	北緯	東経	深さ	規模
2020年11月08日12時13分 震度 1：五島市富江町繁敷	五島列島近海	32° 41.6' N	128° 40.0' E	9km	M2.7

注) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

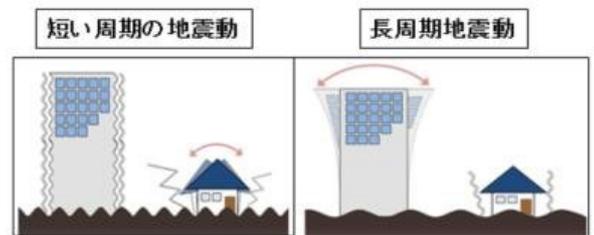
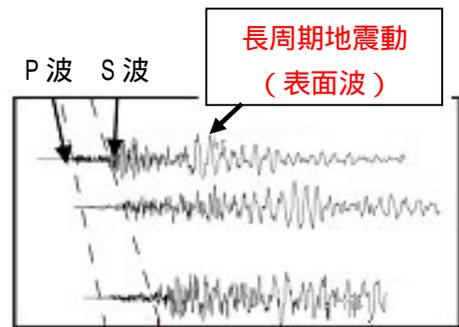
*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

2020年4月18日から10月23日までの地震について、暫定的に震源精査の基準を変更していたため、その前後の期間と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られることがあります。

長周期地震動について

地震が起こると様々な周期を持つ揺れ（地震動）が発生しますが、規模の大きな地震の場合、周期の長いゆっくりとした大きな揺れが生じます。このような地震動のことを「長周期地震動」といいます。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」では、震源から約 700km 離れた大阪市（最大震度 3）の高層ビルで、内装材や防火扉が破損するなどの被害、エレベーター停止による閉じ込め事故が発生しました。また将来、発生が懸念されている南海トラフの巨大地震等でも、長周期地震動による大きな揺れが想定されています。



高層ビルは、短い周期の揺れは、「柳に風」のように、揺れを逃がすよう柔らかく出来ていますが、長い周期の揺れがあると共振してしまい、大きく・長く揺れることがあります。

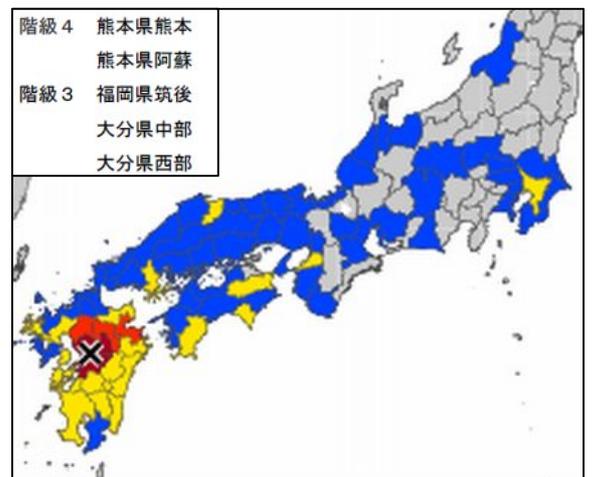
長周期地震動による影響

- ・震源から遠く離れていても、高いビルなどでは揺れが長時間続くことがあり、10分以上揺れることもあります。
- ・長周期地震動による大きな揺れにより、家具類の転倒や落下、移動などの危険性があります。

長周期地震動に関する観測情報

- ・気象庁では、高層ビルなどでの地震後の防災対応を支援するため、長周期地震動により高層ビル内で被害が発生する可能性等についてお知らせする「長周期地震動に関する観測情報」を気象庁HPに掲載しています。高いビルでの長周期地震動による揺れの大きさは、震度ではわからないため、「長周期地震動階級」という目安で表します。
- ・「平成 28 年（2016 年）熊本地震」では、熊本県熊本地方と熊本県阿蘇地方で長周期地震動階級 4 が観測されたほか、九州地方から関東地方にかけて長周期地震動階級 3 ~ 1 が観測されました。

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなると感じる。物につかまらなると感じる。物につかまらなると感じる。物につかまらなると感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。



長周期地震動階級の凡例: ■階級1 ■階級2 ■階級3 ■階級4

2016年4月16日01時25分熊本県熊本地方の地震

地震発生後 気象庁ホームページで「長周期地震動に関する観測情報」をお知らせしています。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/ltpgm/index.html>

平成 25 年 3 月より、「長周期地震動に関する観測情報（試行）」のページの掲載を開始し、平成 31 年 3 月から本運用に移行しました。